

の広場

協議会に加盟する仲間の活動です。

全国森林組合連合会
(全森連)

JForest

安全性とデザイン性を 兼ね備えた林業用安全対策商品！

林業用の安全用品には、バイザーやイヤマフの付いたヘルメット、高視認性ジャケット、防護繊維が使われているチェーンソー防護ズボン、振動軽減手袋、つま先や甲部分が補強されている防護ブーツ等があります。

チェーンソーや刈払機を使う林業では、これら装備品が高い安全性・機能性を備えていることは当然ですが、近年、デザイン性も向上しており、おしゃれなジャケットや防護ズボンが多くなってきました。

林業の現場では、「軽く・涼しく・デザインが良い安全用品」への要望が多く、全森連では各メーカー協力の下、より快適で使いやすい安全用品の普及・開発に力を入れています。

森林組合系統では、安全性とデザイン性の両方を備えた安全用品を使い、日々の仕事に従事する中で、労働災害をなくすとともに、林業と山村の活性化を目指していきます。



防護繊維使用のチェーンソー防護ズボン



開会の挨拶を行うWNJの元川ひとみ代表

ワーカーズ・コレクティブ
ネットワーク ジャパン (WNJ)



「奪いあう経済から たすけあう経済へ」 北海道で全国会議を開催

10月21～23日、第13回ワーカーズ・コレクティブ全国会議を、「奪いあう経済から たすけあう経済へ」をテーマに札幌市内で開催しました。3日間で総数700名以上が参加し、充実した話し合い、学び合いができました。

1日目は、専門分野で研究されている大学の先生をコメンテーターに迎え、8つの分科会で、独自調査や実践の発表など、熱い討議が行われました。

2日目は、明治大学副学長の柳沢敏勝さんに「支えあって生きる～社会的連帯経済が実現するもう一つの世界～」と題して基調講演をしていただきました。格差社会を解消するには、草の根の自発的な連帯組織をつなぐプラットフォームの構築の必要性を指摘されました。

3日目は、北海道古平町にある生活クラブ生協の障がい者のための施設「れい明の里」を視察。福祉を「相互扶助」として捉え、試行錯誤しながら「生活クラブ福祉」の体制を作り上げてきたことは、参加者にとって大きな刺激となりました。